

- 問1 平安時代の政治史において、藤原道長の娘である彰子が一条天皇の后となり、後の後一条天皇が生まれた流れと、平清盛の娘である徳子が高倉天皇の后となり、安徳天皇が生まれた流れには共通点があります。これらの事例から読み取れる、平氏の政治手法の背景として最も適切な説明はどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 天皇の母方の親戚という立場を利用し、摂関家と同様の仕組みで朝廷の権力を握ろうとした。 | 2. 武力によって天皇を退位させ、武士独自の新しい政治制度を樹立しようとした。 | 3. 上皇が政治を行う「院政」を支える組織として、独自の軍事貴族の地位を確立しようとした。 | 4. 地方の武士団を直接統制するために、各国に守護を配置して軍事的なネットワークを構築した。 |
|---|---|---|--|
- 問2 平安時代末期、現在の岩手県にある平泉を拠点として東北地方に独自の勢力を築いた一族が、その豊富な経済力を示すために建立した代表的な建造物はどれか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|
| 1. 平等院鳳凰堂 | 2. 鹿苑寺金閣 | 3. 中尊寺金色堂 | 4. 東大寺大仏殿 |
|-----------|----------|-----------|-----------|
- 問3 平安時代に発達した「かな文字」が、当時の文化に与えた影響についての説明として最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 仏教の教えを庶民に分かりやすく伝えるため、サンスクリット語の文字を簡略化して作られた。 | 2. 漢字を書き崩すことで日本語の発音が表現しやすくなり、『源氏物語』などの優れた文学作品が生まれた。 | 3. 万葉集などの和歌を、意味を重視した漢字一文字のみで記録する手法として全国に広まった。 | 4. 中国の宋から伝わった漢字の読み方を正確に記録するために、公文書のすべてで「かな」が使われるようになった。 |
|--|---|---|---|
- 問4 平安時代初期、桓武天皇から軍の最高指揮官である「征夷大將軍」に任命され、東北地方で朝廷に抵抗していた蝦夷（えみし）を服属させた人物は誰ですか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|-----------|----------|
| 1. 平清盛 | 2. 源頼朝 | 3. 坂上田村麻呂 | 4. 阿部比羅夫 |
|--------|--------|-----------|----------|
- 問5 12世紀の東北地方において、平泉を中心に独自の文化を築いた奥州藤原氏が、極楽浄土を地上に表現するために建立した建築物があります。内外を金箔で覆った豪華な装飾が特徴的な、この阿弥陀堂の名称として正しいものを次のうちから選びなさい。 (2018年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 東大寺大仏殿 | 2. 法隆寺五重塔 | 3. 平等院鳳凰堂 | 4. 中尊寺金色堂 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
- 問6 平安時代末期の東北地方において、産出される金や北方貿易による経済力を背景に、平泉を中心に独自の文化を栄えさせた一族の名前と、その拠点となった地名の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|------------|-------------|----------|
| 1. 平氏と六波羅 | 2. 北条氏と小田原 | 3. 奥州藤原氏と平泉 | 4. 源氏と鎌倉 |
|-----------|------------|-------------|----------|
- 問7 岩手県の平泉を拠点とし、平安時代末期に大きな勢力を誇った奥州藤原氏によって建立された、豪華な装飾で知られる阿弥陀堂を何といいますか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|------------------|-----------|-----------|
| 1. 平等院鳳凰堂 | 2. 蓮華王院本堂（三十三間堂） | 3. 中尊寺金色堂 | 4. 東大寺南大門 |
|-----------|------------------|-----------|-----------|
- 問8 平安時代の政治の変遷において、藤原道長と平清盛の政治的な手法や地位について述べた文として正しいものはどれですか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 藤原道長は娘を天皇の后にして摂政として権力を握り、平清盛は武士として初めて太政大臣となって実権を握った | 2. 藤原道長は征夷大將軍として鎌倉に幕府を開き、平清盛は六波羅を拠点に公家を排除した独裁政治を行った | 3. 藤原道長は律令制度の復活を目指して国司を強化し、平清盛は日宋貿易を禁止して国内の農業を重視した | 4. 藤原道長は院政を開始して上皇として政治を操り、平清盛は足利尊氏と協力して新しい武家政権を樹立した |
|--|---|--|---|
- 問9 国風文化の特色の一つとして、日本人の感情を細やかに表現できるようになったことが挙げられます。この背景にある、文字の成立に関する説明として最も適切なものを選んでください。 (2023年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 仏教の経典を正確に写経するために、サンスクリット語をもとにした文字が使われた。 | 2. キリスト教の布教とともに伝わったローマ字が、貴族の間で急速に広まった。 | 3. 漢字をくずしたり、その一部をとったりして作られた「かな文字」が普及した。 | 4. 朝鮮半島から伝わった「ハングル」をもとに、日本語の音に合わせた文字が作られた。 |
|--|--|---|--|
- 問10 光仁天皇の後に桓武天皇が即位し、元号が延暦に改められた時期の出来事として、東北地方において朝廷の支配を拡大させるために行われたことは何ですか。 (2020年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 坂上田村麻呂を征夷大將軍に任じ、蝦夷と呼ばれた人々の抵抗を抑えた | 2. 平将門の乱を鎮圧するために、関東地方へ大規模な軍隊を派遣した | 3. 奥州藤原氏を登用し、平泉を中心に平和な地域社会を築かせた | 4. 防人を配置して、唐や新羅による侵攻に備えて北方の守りを固めた |
|-------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
- 問11 平清盛が推進した日宋貿易に関する記述として、その背景や具体的な取り組みについて説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2024年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 平氏は足利義満が始めた勘合貿易を参考に、倭寇による密貿易を防ぐための証明書を発行して、宋との公的な交易を独占した。 | 2. 平氏は唐の制度を取り入れるために大輪田泊を整備したが、菅原道真の建議によって貿易は一時中断されることとなった。 | 3. 平氏は瀬戸内海の航路を掌握し、現在の神戸市にある大輪田泊を改修することで、宋の大型船が直接入港できる体制を整えた。 | 4. 平氏は新羅や高句麗といった朝鮮半島の諸国との交易を重視し、日本海側の港を拠点として武器の輸出を盛んに行った。 |
|--|--|--|---|
- 問12 8世紀の天平文化などが大陸の影響を強く受けていたのに対し、遣唐使の停止を経て10世紀から11世紀にかけて日本独自の貴族文化が成立しました。この時期に成立し、源氏物語や枕草子などの文学作品が生み出された文化の名称を次から選びなさい。 (2016年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|---------|---------|
| 1. 桃山文化 | 2. 弘仁・貞観文化 | 3. 国風文化 | 4. 元禄文化 |
|---------|------------|---------|---------|
- 問13 8世紀の歴史年表において、奈良時代の終わりから平安時代の始まりにかけて、仏教勢力から距離を置き政治を立て直すために、平城京から長岡京、さらに平安京へと都を移した天皇は誰ですか。 (2023年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 持統天皇 | 2. 聖武天皇 | 3. 天武天皇 | 4. 桓武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問14 瀬戸内海の海上に位置し、平氏一族が日宋貿易の安全を祈願して厚く信仰したことで知られ、その航路上の重要拠点として大規模な社殿が整備された神社はどれか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 厳島神社 | 2. 宇佐神宮 | 3. 出雲大社 | 4. 鹿島神宮 |
|---------|---------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 天皇の母方の親戚という立場を利用し、摂関家と同様の仕組みで朝廷の権力を握ろうとした。	平清盛は、藤原氏が全盛期を築いた「摂関政治」のモデルを継承しました。具体的には、娘を天皇の妃に送り込み、誕生した皇子を天皇に即位させることで、自らが天皇の祖父（外戚）として権力を振るう手法です。これにより、平氏は単なる武士団のリーダーとしてだけでなく、朝廷の最高権力者としての地位を固めました。一方で、この急速な権力集中は他の貴族や武士、寺社勢力の反発を招く原因にもなりました。
問2	答え 3 中尊寺金色堂	奥州藤原氏は、陸奥国（現在の東北地方）で産出される金や馬を背景に莫大な富を蓄えました。初代の藤原清衡は、度重なる戦乱で亡くなった人々を供養し、仏教による平和な理想郷を築くために平泉を拠点としました。その象徴である中尊寺金色堂は、建物の内外を金箔で覆った豪華な造りであり、当時の東北地方における高度な技術と繁栄を現在に伝えています。
問3	答え 2 漢字を書き崩すことで日本語の発音が表現しやすくなり、『源氏物語』などの優れた文学作品が生まれた。	遣唐使の廃止などをきっかけに、日本の風土や生活に合わせた国風文化が成立しました。かな文字の誕生によって、特に貴族の女性たちの間で、自分の心情を豊かに表現した物語や随筆などの文学作品が執筆されるようになりました。
問4	答え 3 坂上田村麻呂	桓武天皇は平安京への遷都とともに、律令国家の支配を広げるため東北地方の平定に力を入れました。この時、大軍を率いるリーダーとして起用されたのが坂上田村麻呂です。彼は蝦夷の首長であったアテルイを降伏させ、胆沢城（現在の岩手県）を築くなどの功績を挙げました。阿部比羅夫は飛鳥時代に東北へ派遣された人物、源頼朝は鎌倉幕府を開いた人物です。
問5	答え 4 中尊寺金色堂	現在の岩手県平泉を拠点とした奥州藤原氏は、清衡・基衡・秀衡の三代にわたって栄華を極めました。中尊寺金色堂はその全盛期を象徴する阿弥陀堂であり、当時この地域で豊富に産出された金を用いた豪華な装飾が施されています。源頼朝によって奥州藤原氏が滅ぼされる前の、北方の政治・文化の中心的役割を物語る貴重な遺構です。
問6	答え 3 奥州藤原氏と平泉	陸奥国（現在の東北地方）では、11世紀末から12世紀にかけて奥州藤原氏が勢力を拡大しました。彼らは京都の文化を吸収しつつ、平泉を拠点に中尊寺や毛越寺などを建立し、仏教の教えに基づく平和な理想郷を目指しました。これら平泉の文化遺産は、その歴史的価値から世界文化遺産にも登録されています。
問7	答え 3 中尊寺金色堂	奥州藤原氏は、清衡・基衡・秀衡の3代にわたって平泉を本拠地とし、東北地方で独自の文化を築きました。中尊寺金色堂は、その繁栄を象徴する建造物で、内外に金箔が貼られ、螺鈿（らでん）などの高度な工芸技術が凝らされた阿弥陀堂です。当時の地方武士が京都の文化を積極的に取り入れ、独自に発展させた様子を現代に伝えています。
問8	答え 1 藤原道長は娘を天皇の后にして摂政として権力を握り、平清盛は武士として初めて太政大臣となって実権を握った	藤原道長は自分の娘を次々と天皇の后（中宮）にすることで、天皇の親族（外戚）として摂政などの役職に就き、いわゆる摂関政治の最盛期を築きました。その後、武士として急速に勢力を伸ばした平清盛は、武士として初めて太政大臣に任命され、朝廷の要職を平氏一族で占めるなど、後の武家政権への先駆けとなる政治を行いました。
問9	答え 3 漢字をくずしたり、その一部をとったりして作られた「かな文字」が普及した。	国風文化の時期には、漢字の草書体をさらにくずした「平仮名」や、漢字の一部からとった「片仮名」が考案されました。これにより、漢字だけでは表現しにくかった日本人の微妙な感情や言葉を自由に書き表せるようになり、『源氏物語』や『枕草子』といった優れた女流文学が生まれる大きな要因となりました。
問10	答え 1 坂上田村麻呂を征夷大將軍に任じ、蝦夷と呼ばれた人々の抵抗を抑えた	桓武天皇の時代には、東北地方への勢力拡大が積極的に進められました。坂上田村麻呂が征夷大將軍に任命され、朝廷に抵抗していた蝦夷のリーダーであるアテルイを降伏させるなど、東北北部まで支配を広げました。なお、光仁天皇から桓武天皇への代わり目での改元は、新しい天皇の即位（代始改元）を示す歴史的な区切りでもあります。
問11	答え 3 平氏は瀬戸内海の航路を掌握し、現在の神戸市にある大輪田泊を改修することで、宋の大型船が直接入港できる体制を整えた。	平清盛はそれまで九州の大宰府で行われていた貿易を、自身の拠点に近い近畿圏に引き寄せようと考えました。そのため、瀬戸内海の航路を整備し、難所を工事するとともに、大輪田泊を修築して宋の商船が奥まで入れるようにしました。これにより、輸入した宋銭を国内で流通させるなど、強力な経済力を手に入れました。
問12	答え 3 国風文化	遣唐使の停止によって大陸との公的な往来が絶えたことで、日本の風土や生活、日本人の感情に即した「国風文化」が成立しました。この文化圏では、中国の漢字を崩して作られた平仮名やカタカナが広く使われるようになり、紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』などの優れた女流文学が誕生したほか、貴族の住居である寝殿造や大和絵といった日本特有のスタイルが確立されました。
問13	答え 4 桓武天皇	奈良時代後半、平城京では仏教勢力が政治に強く介入し、律令政治が乱れていました。これを刷新するため、784年に長岡京へ、続いて794年に山背国（現在の京都府）の平安京へと遷都を行い、新しい政治体制を築こうとしました。
問14	答え 1 厳島神社	広島県の宮島に位置する厳島神社は、平氏一族の守り神として崇敬されました。平清盛は日宋貿易の航路整備の一環として、この神社の社殿を現在のような海上に浮かぶ美しい姿に整えました。これにより、瀬戸内海の海上交通の安全を祈るとともに、一族の権威を周辺の武士や貴族に示しました。